

すぎなみ大人塾

すぎなみ U30 ミーティング

学びをデザインする！ 公開企画会議



学びをデザインする！ 公開企画会議

1. 概要

日 時：令和7年3月9日（日）15:00～17:00

参加者：44 名

会 場：セッション杉並 講座室

登壇者：総合コース 学習支援者 伊藤 剛
 地域コース 学習支援者 矢野 恒
 はじめの一步コース 学習支援者 荻上 健太郎
 U30 ミーティング コーディネーター 柴田 真光

2. 目的

学習支援者・コーディネーターが、どのような考えで、どのように学びの場を創っているかを聴くことを通して、参加者が自らの「学び」を振り返ったり視野を広げたりし、今後の自らの「学び」についての気づきを得る。

3. 対象

- ・すぎなみ大人塾総合コース、地域コース、はじめの一步、U30 ミーティングの受講生、学び合いの伴走人
- ・すぎなみ大人塾連の方々、社会教育委員の方々、アドバイザーほか

4. 参加者データ（年代内訳）

20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	合計
4 人	1 人	4 人	8 人	18 人	8 人	1 人	44 人

5. プログラム

あいさつ・主旨説明

第1部 ～人を知る・コースの学びを知る～

- （1）学習支援者を知る
- （2）4つのコースの学びの作り方を知る

第2部 パネルトーク ～学びをデザインする！「公開企画会議」

ふりかえり



6. 開催までの経緯

合同成果発表会に代わり、自らの「学び」を振り返る機会として、令和6年度に初めて実施しました。当初は10月を予定していましたが、延期となり、3月に実施しました。実施にあたり、学習支援者、コーディネーターとの打ち合わせを経て当日のプログラムを決定し、開催となりました。

7. 当日の様子

第1部～人を知る・学びのつくり方を聴く～

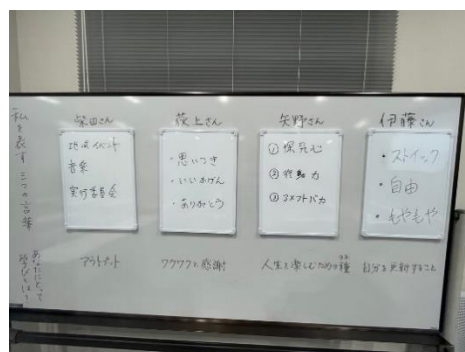
第一部では、「学習支援者を知る」「4つのコースの学び方を知る」というテーマで、4人の登壇者に、質問に答える形で自己紹介をしていただきました。また、今年度の各コースの学びのつくり方や大切にしてきたことなどをお話しいただきました。

自己紹介では、学習支援者、コーディネーターになったきっかけ、子どもの頃勉強が好きだったか、今は学ぶことが好きかなど、4人のパーソナルな部分を知ることができ、身近に感じることができたのではないのでしょうか。

次に、各コースの学びのつくり方をお聴きしました。4つのコースで学びのつくり方、学び方のちがいはありませんが、共通点もありました。それぞれのコースで、どこに重きを置いて学びをつくってきたかがよくわかりました。参加者にとっては、自身が参加したコースの学びを改めて振り返ると同時に、他のコースの学びについても知る機会になったのではないかと思います。

私を表す3つの言葉。

4人の登壇者それぞれの“チガイ”がありました。



第2部～学びをデザインする！公開企画会議～

事前に、各コースの受講生から、「杉並区で連続講座を開催するならどんなテーマが？」というアンケートをとったところ、30人の方から回答が寄せられました。一覧にした回答リストを見ながら、4人の登壇者が、さまざまな観点から、考えを出し合う「公開企画会議」を行いました。「学びの場」をつくる立場から考えたこと、日頃「学びの場」をデザインする際に悩んでいるところなどをフリーに話していただきました。参加者は、メモを取ったり、うなずいたりしながら聴いていました。

最後のまとめとして、「あなたにとって『学び』とは！？」を4人の登壇者に伺いました。『学び』を表すキーワードは“チガイ”がありつつ、つながりもありました。参加者の皆さんは、何らかの気づきを得たのではないかと思います。

私にとっての「学び」とは！？

それぞれ特徴のあるひと言にまとめてくださいました。





ご自身の「学び」について、どのような気づきがありましたか？

001 |

学びとは受動的ではなく主体的なものであると気付かされました。自分もいつかアウトプットする側としてお話しできる機会が得られたら良いと思いました。

002 |

遊びと学びは表裏一体という言葉に非常に共感しました。遊び、学びながら、自己を更新し、アウトプットして、人生を豊かにしていきたいと思います。

003 |

自分自身の社会・世界(コミュニティや家族など)に対してのモヤモヤをコトバにしなが、他者との違いを見つけ、理解しあうための表現方法を探ること。また、学びとは、人生を楽しむための「種」という表現に共感しました。

004 |

学んだ後の活動(アウトプット)までが学びであること。名刺に堂々と杉並区民と入れたい。

005 |

伊藤剛さんの杉並大人塾の話の内容が素晴らしく考えさせられた。

006 |

遊びは学びの源泉だということ。

007 |

このまま興味のあることには顔を出してコミュニケーションとりながら、で間違っていないと思いました。

008 |

工夫されている学習支援者の大人塾に、今後も参加して自分の意識を高めていきたいと思いました。

009 |

私の「学び」とは、「生」が終わるときに、自分自身を「自分らしい『生』だったな」と腑に落ちて終えるためのものではないかな？と気づきました。

ご感想・ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

010 |

4つのコースの学習支援者それぞれの感性と知識を交えながら話を聴ける、とても有意義な時間でした。

011 |

社会教育センターの考え方、学習支援者の提案をどのように理解・評価して最終的な企画になっていくのかに、興味が湧きました。

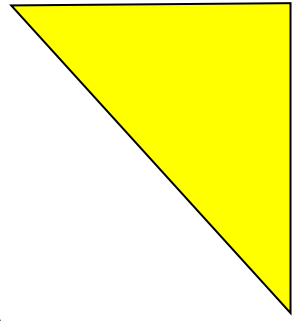
012 |

せっかくの機会だったので、受講生同士の会議もやってみて良かったです。



共催事業

(主催：すぎなみ大人塾連)



社会教育センターでは
講座修了後のつながり・広がり
を支援しています

令和7年度に21年目を迎えるすぎなみ大人塾。

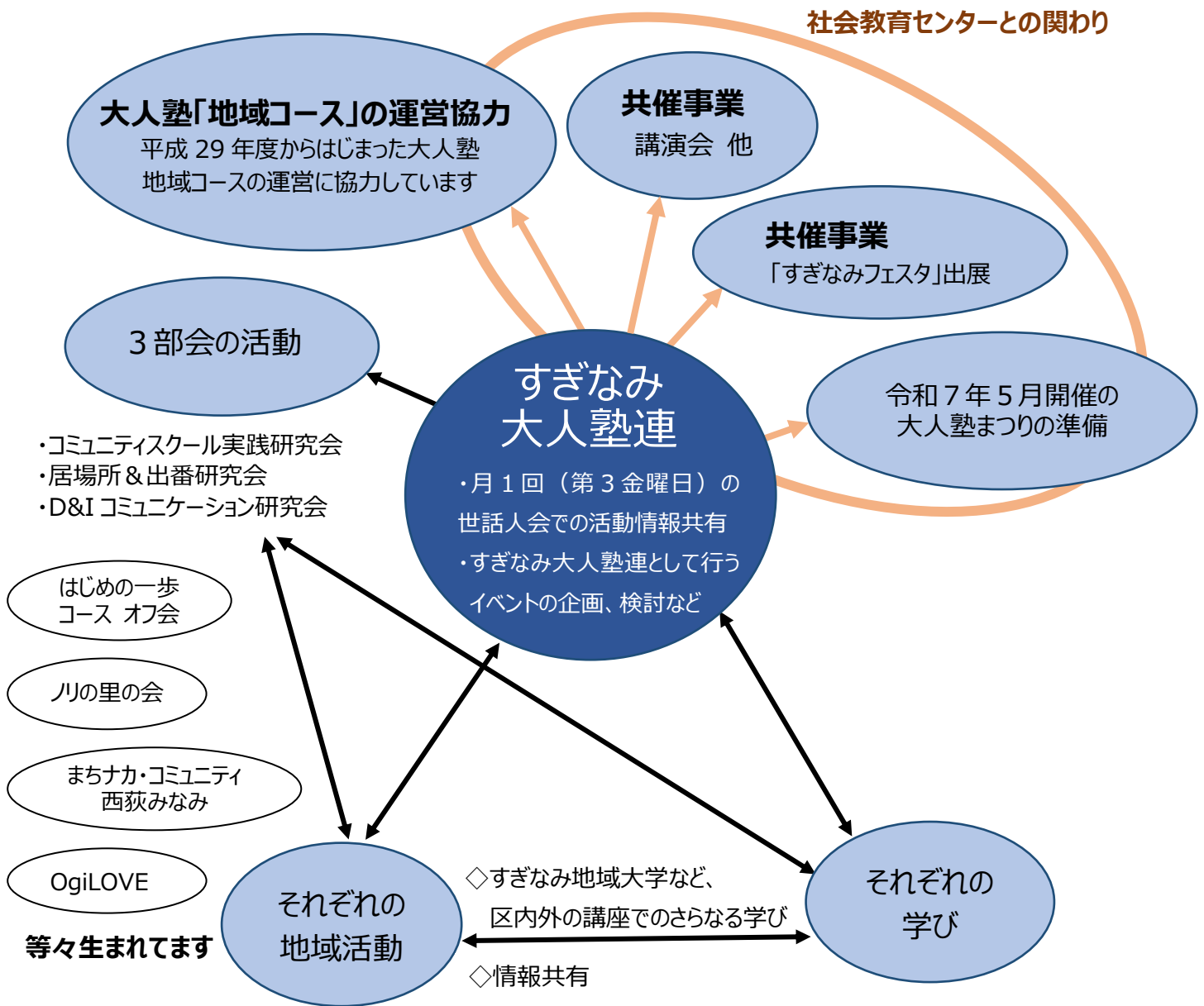
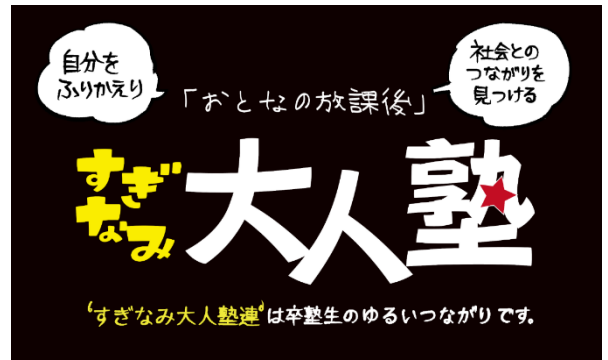
「講座で学んだ発想やつながりを活かして、地域で活動したい！」
「自分でイベントなどの企画を立ててみたい！」
という講座修了者も数多く、大人塾まつりなどで
つながりをつくり続けてきました。

すぎなみ大人塾連世話人会は、卒塾年度を超えたメンバー同士の
情報共有、交流、活動などの場となっています。



すぎなみ大人塾連 活動

すぎなみ大人塾連は、すぎなみ大人塾を卒業したすべての人たちのゆる〜いつながりです。毎月第3金曜日に世話人会を開き、それぞれの活動の情報共有や大人塾まつり、主催講座など、すぎなみ大人塾連が主体となって行う活動に向けての話し合い等を行っています。日頃それぞれが学校運営協議会委員などとして地域と関わり、活動をしながら、それらをゆるやかにつなぐすぎなみ大人塾連の存在は、ほかの地域からも注目を集めています。



地域との関わり

- ◇地域行事への参加
- ◇地域活動団体立上げ

- ◇区民活動運営への参加
 - ・地域区民センター協議会委員
 - ・学校運営協議会委員
 - ・NPO等活動推進委員 などなど

令和 6 年度すぎなみ大人塾連の主な主催事業の実施状況

開催日	内 容	参加者数
8/7～12	阿佐谷七夕まつりにハリボテ出展	来場者約75万人
11/2	「＜保護者の＞＜地域の＞私が“教育”の場に参加するって？」	52人
11/10	すぎなみフェスタに参加	223人
令和 7/3/16	講演会「子どもの心を受けとめる 大人の関わりで大切なこと」	40人（募集）
令和 7/3/26	「＜保護者の＞＜地域の＞私が“教育”の場に参加するって？」 第 2 章	50人（募集）
令和 6/4月 ～ 令和 7/3月	大人塾まつりの準備 (月に 1 回実行委員会を開催、実施は令和 7 年 5 月 17 日)	延べ250人

阿佐谷七夕まつりにハリボテ出展

概要

日 時：令和 6 年 8 月 7 日（水）～12 日（月）
場 所：阿佐谷パールセンター商店街
平田屋化粧品店前

経緯

「地域のお祭りに参加したい！！」との思いから、平成18年から阿佐谷パールセンター商店街のお店の協力を得て、すぎなみ大人塾連のハリボテ作りが始まりました。」令和 5 年は「パンドロぼう」で七夕賞を受賞しました。

毎回のお決まり「何を作ろう」から始まり、今年度は「クジラ」に決まりました。仲間の募集、材料手配、ハリボテ作成・完了、運搬、展示現場での最終調整・つり上げ固定と、約 2 週間午前中から杉並区立第六小学校図工室をお借りして、皆でワイワイと楽しく作業をしました。

今年最大の特色は、杉六小のクラブ活動「はりぼてクラブ」の児童たちを夏休み直前の授業日 3 日間の午後に指導して、クジラと一緒に泳ぐ仲間の魚を作ってもらったことです。このように、多世代間の地域交流は進みましたが、残念ながら賞には選ばれませんでした。



クジラを背景に「はじめての一步コース」卒塾生

高齢化が進み「ハリボテづくりがきつい・・・」との声も出始めているため、継続性を検討すべき時期にきています。

このイベントから新しい地域活動へ

ハリボテ作りは地域の協力を得なければできません。展示場所を提供してくれる商店会の店、作業場所を提供してくれる杉六小などに加えて、今年度初めて杉六小の児童と一緒に作業できたことは新しい一歩となりました。

これまでの蓄積を生かして、さらに地域との関係を密にする視点が大切と再認識しました。



クジラの骨組み

<保護者の><地域の>私が“教育”の場に参加するって？

概要

日 時：令和6年11月2日（日）19:00～21:00

場 所：セシオン杉並

参加者：52人

開催経緯

後述の3部会の一つである学校運営協議会実践研究会（通称CS部会）は、CSに関する学びを深める場です。令和5年8月から4回の懇談を重ね、イベント「<保護者の><地域の>私が“教育”の場に参加するって？」を11月2日に開催しました。

特色ある活動に取り組んでいる3人にお話を聴きました。参加して楽しく持続可能な現代にマッチしたPTAを構築した西田小学校PTA会長の富田さん、小学校を拠点にした特色あるNPO「サイン」代表小山内さん、「ごちゃまぜのラーニングセンター」を目指している高井戸小学校CS委員和田さんの3人のスピーカーからお話があり、スピーカーのお話をファシリテーターの松山さんがまとめました。松山さんが代表して議論を深める質問をしました。

終了後、参加者の多くが懇親会に参加して和気あいあいと交流を深め有意義な時間を過ごしました。

私が“教育”の場に参加するって？

QUESTION. 1 地域と学校が連携・協力するって？

QUESTION. 2 社会に開かれた教育課程って？

QUESTION. 3 保護者の私、地域の私、それぞれができることって？

『学校』が変わり始めた今、一緒に考えてみませんか？

小・中学校保護者の大、学校を拠点する大、学校運営協議会委員の大、地域教育連絡協議会委員の大、地域教育推進協議会委員の大

『学校』に関心がある方なら、どんなにでもご参加頂けます。

PTAやNPOの取組も、ご紹介！

※1) 学校を拠点するものではありません。 ※2) ごちゃまぜラーニングセンター

日 時 2024年11月2日（土）19:00～21:00（18:30受付開始）

場 所 セシオン杉並 2階 講座室

定 員 30名（先着順）

参加費 無料

◆申込み・問合せ 【右のコードよりお問い合わせ・お申込み下さい。】
すぎなみ大人塾 ② susinamitonajuku.ren@gmail.com
杉並区立社会教育センター ☎ 03-3317-6621（月～金 8:30～17:00）

主催 すぎなみ大人塾 共催 杉並区教育委員会

活動を通して

学校教育を良くしよう、学校と地域との交流を深めようなど教育に関心の深い多くの方々が集まり、先進事例を聴くと同時に、志を同じくする仲間とのコミュニケーションが深まりました。このような活動は社会教育の成果として評価できるでしょう。今後も活動を継続します。

<保護者の><地域の>私が“教育”の場に参加するって？第2章

概要

日 時：令和7年3月26日（日）19:00～21:00

場 所：セシオン杉並

参 加 者：50人（募集）

開催経緯

11月2日の第1章のふりかえりのCS部会を令和7年1月に行い、第2章を行うことにしました。

活動を通して

学校と地域の協働が一層進むきっかけを目指します。

すぎなみフェスタに参加

概要

日 時：令和6年11月10日（日）10:00～15:00

場 所：桃井原っぱ公園

参 加 者：110人（「科学あそび」ブンブンごま作りコーナー）、113人（ミニモルック体験コーナー）

開催経緯

「すぎなみフェスタ」は、区内のお店や団体、交流自治体など150の出店者が集まり、来場者が10万人以上にのぼる大規模な恒例イベントです。

今年度の私たちのブースでは、普段の活動の延長線として、科学あそび「ブンブンごま作り」と「ミニモルック体験」の2つのコーナーを設けました。

ブンブンごまは、ごみとして廃棄されるカプセルトイのプラスチック・カプセルをコマ本体として使うアップサイクルとしました。

ミニモルック体験は、小さい子でも遊びやすいミニ版で体験してもらいました。



ブンブンごま作り風景

活動を通して

イベントでは、子どもたちが夢中で物事に取り組む姿を見ることができました。ぶんぶんゴマづくりに参加してくれた子どもたちからは、「チョットむずかしいな・・・」「わー、うまく回った！」などの声が上がりました。

また、モルック体験では、「初めてやる」や「聞いたことがあるけど、実際にやったことはない」という子どもたちが多く、終わる頃にはとても楽しんだ様子がありました。

今後も、多くの人たちの「声」を大切にしながら、誰もが楽しめる場をつくっていきたいです。

講演会「子どもの心を受けとめる 大人の関わりで大切なこと」

概要

日 時：令和7年3月16日（日）14:00～16:00
場 所：セシオン杉並
参 加 者：40人（募集）
講 師：川上 康則（杉並区立済美養護学校主任教諭）

開催経緯

人間関係やコミュニケーションは複雑です。

これといった正解があるわけではなく、学校でも教わりません。だからこそ、ぶつかり合うこともあります。ましてや、親と子、教師と児童・生徒、上司と部下、先輩と後輩など、そこに「上下」の関係性があれば、うまくいかないことに「なんでそうなの？」と思わずにはいられないこともあるでしょう。

今回は大人と子どもとのコミュニケーションに焦点を当てて、より豊かな関係を築くことを考えてみます。

講演会を通して

複雑な人間関係やコミュニケーションで悩みを抱えている人は多いでしょう。本講演は、大人と子どものコミュニケーションに多くの示唆が得られること、さらに、いろいろな場面で応用するためのヒントとして役立ててもらえたらと期待しています。

子どもの心を受け止める

大人（大人）の関わりで大切なこと

人間関係やコミュニケーションは複雑です。

これといった正解があるわけではなく、学校でも教わりません。だからこそ、ぶつかり合うこともあります。ましてや、親と子、教師と児童・生徒、上司と部下、先輩と後輩など、そこに「上下」の関係性があれば、うまくいかないことに「なんでそうなの？」と思わずにはいられないこともあるでしょう。

今回は大人と子どもとのコミュニケーションに焦点を当てて、より豊かな関係を築くことを考えてみます。

日時：2025年3月16日（日）14時～16時
場所：セシオン杉並 2階講座室
講師：川上 康則先生（杉並区立済美養護学校主任教諭）
定員：40名（申込順）
資料代：200円（当日受付にてお預かりいたします。お断りのないようご準備をお願いします。）
対象：杉並区内在住・在勤・在学の方

＝ 申込み・問合せ ＝
☎ 03-3317-4621（月～金 8:30～17:00）
✉ susinami@otomajuku.ren@gmail.com
© 杉並区立社会教育センター

共催：すぎなみ大人塾 杉並区教育委員会

大人塾まつりの準備

概要

期 間：令和6年4月～令和7年3月（月に1回実行委員会を開催）

場 所：セッション杉並

参 加 者：延べ250人

経緯

本年度は開催せず、令和7年5月開催に向けての準備に注力しています。前回は令和5年12月に開催しましたが、開催時期はコロナ禍前に開催していた5月が良いということになり、令和6年5月では近すぎるのでお休みすることにしました。大人塾まつり実行委員会を令和6年4月に発足して毎月1回開催し、令和7年5月に向けて準備を進めています。

次年度（令和7年度）はすぎなみ大人塾開講20周年を迎えるので一層の飛躍を目指し、「新しい出会い」をテーマに、「つながりながら大人塾」をキャッチコピーに、地域の人々や団体との交流を深めることを目指しています。

近隣の中学・高校・大学・児童館に参加を促し、より幅広い地域の方々とイベントを育て上げていく飛躍の年です。想定来場者数は、約1,500人を期待しています。

展示・イベント・ワークショップ・物品販売・食の販売等多彩なプログラムを予定し、今回は「謎解きゲーム」で全館を回る企画も設けます。



セッション杉並 2 階講座室の実行委員会風景

大人塾まつりへの期待

大人塾まつりは、杉並区における社会教育の拠点、社会教育センターがある「セッション杉並」全館を使用する恒例のイベントです。すぎなみ大人塾連、すぎなみ大人塾、社会教育センターだけでなく地域の方々や団体を巻き込んで地域の多世代交流の契機となることを目指します。

3 部会の活動

コロナ禍で活動が思うようにできないことをきっかけにして、令和4年度に3つの部会を作り活動しています。昨年度の活動は「すぎなみ大人塾・すぎなみU30ミーティング2023記録集」をご覧ください。本年度はさらなる充実を目指して活動しました。

居場所&出番研究会

★公共の捉えなおし “アナタのキカイをまちのなかに”

コミュニティスクール（CS）実践研究会

★学校の捉えなおし “地域の側から学びの未来を考える” “生きる力を育む地域”

Diversity and Inclusion（D&I）コミュニケーション研究会

★コミュニケーションの基盤の捉えなおし “受け止める行為の先の自分” “協働のベース”

居場所&出番研究会

令和5年7月に開始した活動ですが、令和6年度末で16回実施することになります。

高い気温を避けて7、8月は休み、12月は年末で休み、4月は休み、ということで令和7年1月31日現在で累計14回実施済みです。

阿佐谷地域区民センター前のけやき公園で、同指定管理者 オーチャー・箱根植木共同事業体の手厚い協力を得て「地域の人たちとの関係を作り、子どもから高齢者までの幅広い年代の居場所づくりを目指す」という趣旨で無料の手作り工作を実施しています。

令和6年度の参加者累計は101人です（令和7年1月31日現在）。手がけた作品が出来上がり、それで遊ぶ子ども達が輝くような喜びの表情になるのを見ると、この活動を行う価値があると実感します。殆どが親子連れですが、稀に子どもだけの参加があります。活動が知れ渡り、子どもだけの参加が増えることは大歓迎です。

余談ですが、実施場所が公園のため、蚊取り線香を焚いていますが、数多い蚊の攻撃に工作を中断してしまう参加者がいたことは残念でした。



CS実践研究会

すぎなみ大人塾連メンバーに何人も学校運営協議会委員や地域教育推進協議会委員などの学校関係者がおり、それぞれが個別に学校教育を良くするための活動を進めていますが、学校横断型の話し合いの場がありません。

そこで、すぎなみ大人塾連メンバーが中心になって、CSに関する学びを深める場を作ることになりました。令和5年8月、11月、令和6年3月、7月と懇談を重ね、前述の11月2日のイベントを開催しました。その振り返りの懇談から、3月26日に第2章を行うことになりました。

卒塾生の集まりや仕組み

平成17年に始まったすぎなみ大人塾から多くの卒塾生が巣立っていきました。卒塾生が立ち上げた集まりや仕組みがたくさんあります。

直近では、令和5年度「はじめの一步コース」の第1期生。令和6年に卒塾後も、2カ月に1回イベント(お花見、暑気払い、一周年のお祝い、ボウリング大会など)の「オフ会」を開催して、お互いの近況報告を行い交流を続けています。

また、すぎなみ大人塾の卒塾生有志などで立ち上げた自主グループや団体があります。

- ・「総合コース」から当事者研究の自主勉強会「ノリの里の会」
- ・「荻窪コース」から荻窪を中心とした地域活動団体「OgiLOVE」
- ・「西荻コース」から「まちナカ・コミュニティ西荻みなみ」

それぞれ新たなメンバーを増やしながら、多岐にわたる活動を行っています。



はじめの一步コース卒塾生のオフ会（令和6年5月）